

# ミツカンよかわビオトープ倶楽部 支援

## 食品工場にビオトープ

ミツカンは、三木工場建設にあたって、畑や、池、森など多様な自然環境で生態系が安定すれば食品工場の大敵である昆虫の大量発生を防げるということや、自然学習の場として地域に貢献することなどをめざしました。ひとはくは、ミツカンよかわビオトープの計画づくり（平成15年）から、倶楽部の立ち上げ・運営を支援しています。

## ミツカンよかわビオトープ倶楽部の活動

倶楽部の活動は、計画づくりからはじまりました。南の斜面には果樹園、畑で芋づくり、森を散策できる園路など構想から実施までやりました。通常は、月に1度例会を行い、ビオトープの管理作業の他、地域の子どもを対象にした観察会、クラフト、花見やお月見といった季節毎の行事等、みんなで企画しながら継続しています。

## 専門家の連携

このプロジェクトの特徴は、絶妙な専門家の連携です。主体であるミツカン、多様な自然を極力保全しながら倶楽部による活動ができるフィールドづくりとしてのビオトープ整備をしたゼネコン鹿島建設、計画やモニタリング調査を担った里と水辺研究所、計画づくりや倶楽部運営を支援したひとはくです。例会に集うことも多く、倶楽部メンバーとビオトープを散策しながら、情報交換をして整備や管理内容にフィードバックできたことは有効でした。

## ビオトープの魅力を伝えるコンテンツづくり

倶楽部は、ミツカンとの良い関係を維持しながら、地元の子どもたちやビオトープを訪れる人たちにその魅力を伝えるコンテンツづくりを積極的にすすめたいと考えています。ひとはくは継続して支援しつつ、他の工場や企業でもこのようなビオトープを通じた地域との良い関係が実現できるノウハウを構築します。



## ミツカンよかわビオトープ倶楽部 支援

代表者：藤本 真里

分担者：中瀬 勲、八木 剛、小館 誓治、鈴木 武

協力者：株式会社中埜酢店、株式会社ミツカングループ本社、

株式会社里と水辺研究所、鹿島建設株式会社、三木市役所他

財 源：株式会社ミツカングループ本社委託研究